

大阪隆夫（元中学教師）

「ヒトの教育」創刊3号の先生の「転地療法の誕生」を拝読し、よい仕事をされておられると思いました。

不登校が、また中学校で増加傾向にあります。このまま行けば、この先引きこもりやニートも増加するでしょう。この不登校や引きこもりの問題に転地療法がいかに有効であるか、挙げられている事例がよく示していると思いました。

転地療法のよさは、私が考えるに、本質的には親から離すことにあるのではないかと思うのです。往々にしてこうしたケースでは親の偏った価値観に問題が横たわっている場合が多いからです。特にテストの成

績や偏差値を重視する知育偏重教育を強制することで子どもをダメにしている場合が多いのではないのでしょうか。世間体とか見栄とか、外側の通俗的な価値を大事にするタイプですね。親の強制する価値観から離れることで子どもは本来の姿を見出し、いく。そうしたプロセスが大事で、カナダやニュージーランドという海外に身を移すことで、一定の期間、徹底して親から離れられる。また他人様のお世話になる緊張感のなかで自と自堕落な生活も矯正されていくでしょうし、また異なるゆたかな自然環境のもとに生活するゆえに、生きる力ややる気が育まれるのだらうと思いました。

エフエム世田谷

昨夏「孫と留学」に参加した金丸連君がお母さんと、江本直樹君がお婆ちゃんとエフエム世田谷のグローバル・キッズ・ステーションに出演し、3月2,9,16日の3回にわたり放送が流れました。



☆金丸連&お母様



☆江本直樹&祖母

FM SETAGAYA
83.4 MHz

署名をありがとうございました

昨日、日比谷公会堂で開催された拉致被害者救出のための「国民大集会」にご参加下さり、御礼申し上げます。署名簿は累計で六百万名に達したら官邸に提出するそうで、後、少して六百万名になるそうです。引き続き感心を持って見守って下さるようお願い申し上げます。横田 滋



知っていると便利

注文品が遅い場合

Waiter! I haven't gotten my order yet.
I've been waiting for more than 20 minutes.
This waiting is getting on my nerves.

「ちょっと、まだかな。20分以上も待っているんだけど。これは精神衛生によくないよ」

※This waiting is getting on my nerves.は、列に並んでいて順番がなかなかこないとき、電車やバスがなかなか来ないときなどに使える。get on は、一定の時間経過が神経に障る含意がある。

☆ 響く歌…世界に! ☆ ☆

江頭 翼

難波三津子さま

あの日の表彰式は、私たちにとって夢のような出来事で、その中でお会いした難波さんのお話も、なんだか夢見心地で聞いていたような感じでした。

翼は、障害を苦にしたこともなく、底抜けに明るく、そしてとても優しい、ママのスーパーヒーローです。大きく羽ばたいてくれたらなという思いで「翼」と名付けましたが、それがこんなふうの実現していくとは思いませんでした。

先日、あるTV番組のディレクターの方から取材依頼を受けまして、お会いしたのですが、その方は若い方でしたが、「障害は苦悩」という固定概念の強い方で、その大変な苦難の中、歌と出会ってやっとの思いで苦難を乗り越え克服してきたという筋書きがしっかりと頭の中にある方でした。そして翼に一生懸命苦勞話を聞き出そうとしておられました。でも翼は「困ったことやいやだったことは？」の質問に「ありません」。「障害がなかったらよかったのって思いませんか？」の問いかけにも「ありません」。と何度も何度も応えていました。すると今度は「障害がなかったらもっと上手に唄えるかもしれないだよ。ね?なかったら良かったって思わない?」と聞かれ、「あり



ません!…もしも、障害がなかったらもっと上手に唄えたかもしれないけれども、でも、今の、このボクを、老人ホームのおじいちゃんおばあちゃんは待っていてくれるし、このままのボクからおじいちゃんおばあちゃんに元気を分けてあげられるんだと思うし、ボクは、障害がなかったら良かったとは思いません。この身体で、やっていきたいと思ってます」って応えました。ちょっとびっくりしました。そんな風に生きていてくれて…、そんな風に感じて歌っていてくれて…、翼が私の息子で良かったと改めて思った瞬間でした。

結局、その番組に取り上げてもらうことはなくなりましたが、これにも翼は「いいよ。待っていてくれる人がいるから、番組なんていいよ」と言っていました。みんな生きていれば障害があろうとなかろうと苦勞もあれば幸せも訪れます。自分は特別じゃないって思っただけで成長してくれたことに私も「ありがとう」の気

持ちでいっぱいです。

難波さんがレセプションのときに翼に「がんばらなくていいよ、そのままがいいよ」って笑顔でおっしゃってくださったこと、翼は今もよく話します。「このままのボクで行く」と、胸張って進む息子を誇らしく思います。私は何にも出来ませんが、そんな、ちょっと小生意気なスーパーヒーローをずっと見守っていきたくと思っています。

海外で歌うなんて、夢のまた夢、雲をつかむみたいなおぼろげな夢だと思っていました。でも、そんなに上手じゃないけど、翼の歌になにか強く熱いものがこもっているとするならば、広く、多くの方にそれを知って頂きたいと思っております。どうぞ今後ともよろしくお願いたします。

☆ 翼の母 江頭洋子 ☆



☆ アムウェイ・One by one 受賞式



Congratulations!!

- * 伊藤亜里沙 ニュージーランドEVA高校進級クラス入学
- * 水木麻友美 ニュージーランドEVA高校進級クラス入学
- * 飯島拓也 ニュージーランドEVA英検クラス入学、ルネサンス高校入学
- * 円裕治郎 ニュージーランドEVA英検クラス入学、国立大学入学準備クラス入学
- * 坂上千秋 ニュージーランド・テームズ国立高校・成績優秀賞受賞、校長賞受賞
- * 酒井 亮 ニュージーランド国立ウィンテック単科大学入学
- * 鷹 浩一 イギリスICS英検クラス入学、NILE英語教師研修コース入学
- * 山田 淳 イギリスICS英検クラス入学
- * 木原涼子 イギリスICS英検クラス入学
- * 吉崎沙与子 イギリスICS英検クラス入学
- * 佐藤 毅 イギリスLCIBS観光科卒業
- * 和田 星 青山学院大学経済学部入学
- * 佐藤 徹 明治大学大学院会計専門職課程入学

ジョーク

スープに蠅が入っていたら?

ドイツ人…「このスープは熱いので十分に殺菌されている」と冷静に考え、
蠅をスプーンで取り出してからスープを飲む。

フランス人…スプーンで蠅をおしつぶし、出汁をとってからスープを飲む。

中国人…問題なく蠅を食べる。

イギリス人…スプーンを置き、皮肉を言ってから店を出ていく。

ロシア人…酔っぱらっていて蠅が入っていることに気がつかない。

アメリカ人…ボーイを呼び、コックを呼び、支配人を呼び、あげくに裁判沙汰となる。

アイルランド人…取り出した蠅を片手で掴みながら、こう蠅に叫ぶ。

「吐き出せ、吐き出せよ、ちくしょう!」

日本人…周りを見回し、自分だけに蠅が入っているのを確認してから、そっとボーイを呼びつける。